

開催状況報告

(1) カザフスタン（アルマトイ）

日本免震構造協会の和田会長から日本の免震建築の概要や最近の地震と建築物の耐震設計の新しい考え方についての講演があり、その他の日本側参加者より、日本の建築規制制度、耐震設計の考え方、免震装置の設計、施工、管理における重要な点などの紹介を行いました。また、カザフスタン側から耐震対策への取組などの紹介がありました。

参加者はカザフスタン国内のほか、隣国キルギスの研究者等も含めて約 50 名を数え、会場では活発な質疑応答が行われるなど、日本の免震技術、制振技術への高い関心が寄せられました。



(和田会長の講演)



(会場の様子)

(2) 中国（北京）

日本免震構造協会の和田会長から日本の免震・制振建築の動向についての講演があり、その他の日本側参加者より、日本の建築規制制度、免震構造設計基準、免震技術活用の事例などの紹介を行いました。また、中国側から中国の免震・制振技術の動向、空港ビルにおける免震技術の応用事例などについての講演がありました。

中国各地から 300 人を上回る多くの方が参加し、この分野への高い関心が示されました。また、講演会後には免震や制振の建築の現場見学も実施されるなど、新たな建築技術に関する両国の技術者や研究者の交流の場となりました。



(和田会長の講演)



(会場の様子)

(3) 中国（広州）

日本免震構造協会の和田会長から日本の免震建築の歴史、原理、動向についての講演があり、また、その他の日本側参加者より、免震部材の性能と建築物の耐震性能との関係などの紹介を行いました。また、中国側からも中国における免震・制振技術の研究・開発の動向などの紹介がありました。

地元広州大学の研究者をはじめ、上海、北京、武漢、蘭州など中国各地から研究者や技術者約 150 名が参加し、両国の研究者や技術者による活発な技術交流の場となりました。



(会場の様子)



(会場の様子)